



長狭学園の教育

かしこく（勤勉）

やさしく（至誠）

逞しく（克己）

長狭大好きな子（立志）

【避難訓練を実施】

前号にも記載しましたが、今年も年明け早々に山陰地方で震度5強を記録する地震がありました。「天災は忘れた頃にやってくる」と言われていますが、近年の日本列島は、記憶に新しいうちに次の大きな地震が起こっているような気がします。特に、阪神淡路大震災や東日本大震災、熊本地震や能登半島地震などは、ショッキングな映像を通して、地震の恐ろしさが映し出されました。大きな被害をもたらし、未だにその傷跡が人々の心に残り、不便な生活を余儀なくされている人たちも大勢いると聞いております。

本校では「災害から自分の身を守るために自ら考え主体的に行動できる子どもを育てることが大切である」とのことから、不定期にミニ避難訓練を実施しております。2学期末の訓練に引き続き、始業式後にも訓練を実施しました。今回は、子どもたちには抜き打ちでの訓練としましたが、どの教室も慌てることなく、子どもたちは自分たちで机の下にもぐり、机の脚をしっかりと押さえていました。今後は、業間や昼休み等にも実施し、誰かの指示がなくとも、自分の目で見て安全な場所に避難することができる子どもたちを育てていきたいと考えます。各家庭におかれましても、いざという時の避難行動について、お子様とお話をいただければと思います。



襷をつなぐ・心をつなぐ(まほろば駅伝)

今年は、12月1日(月)から朝練習(午前7時20分)を開始し、心と身体を鍛えてきた駅伝チームが支部新人大会兼まほろば駅伝大会に参加しました。比較的気温も高く好天に恵まれた18日(日)、女子が午前9時30分、男子が10時30分にレースを開始しました。

出場した11チームの中、男女とも最も生徒数の少ない長狭学園でしたが、女子は昨年同様の9位、男子が3位という好成績をあげました。また、大会後に行われたロードレースもこれまでの練習の成果を発揮すべく、どの生徒たちも歯を食いしばって力走しました。毎年恒例の駅伝大会とあって、地元の方々から多くの声援を送っていただきました。前走者からつないだ襷を、一つでも順位をあげて次の走者に渡したいとの思いが走りすぎる子どもたちの背中からひしひしと感じ、襷をつなぐ駅伝の素晴らしいを再認識する大会となりました。

保護者の皆様のご理解とご協力のもと、朝早くから練習を行ってきた成果を子どもたちも実感することができた大会となつたことと思います。ありがとうございました。なお、男子駅伝チームは、2月14日に千葉県立柏の葉公園で開催される第15回千葉県中学校新人駅伝大会に参加することとなりました。引き続きのご理解とご声援をお願いたします。





『校内席書会を開催しました。』

8日（木）に全校児童生徒による席書会を開催しました。午前に行われた小学部では、全児童が体育館に集合し、クラスの代表者が、新年の抱負を漢字1文字に込めて披露し、その思いを語ってくれましたので紹介します。

「本」本をたくさん読んで、新しいことをたくさん知りたいです。（1年女子）

「考」普段からよく考えて行動しなさいと言われるので考にしました。何が正しいことで何がいけないのかよく考えて行動できるようになりたいです。

（2年男子）

「行」私は自分で考えて行動することが少し苦手です。だから今年は、じっくり考えてよいと思うことを進んで行動にうつしたいです。（3年女子）

「睦」年下の人たちと仲睦まじく（なかのよい）周りの人たちを大切にできるよう、温かい関係をいだいていきたいと思います。（4年女子）

「導」みんながルールを守って楽しく学校生活を送ることができるよう、6年生としてお手本となり、みんなを導いていきたいと思います。（5年男子）

「部」中学生になって初めてのことがたくさんあるけれど、特に部活動を頑張りたいと思います。そのために部活動体験で少しでもやることを知ったり毎日運動したりして、部活動に取り組めるようにしたいです。そして、当たり前のことが当たり前にできることを初めの一歩とします。（6年女子）



その後、低学年は教室に戻り、他の学年は体育館で席書を行いました。どの学年の児童も与えられた3枚の用紙に、これまでの成果を発揮すべく、真剣かつ集中して取り組んでいました。

また、午後に行われた中学部の席書会でも、全生徒が体育館に一同に会して席書に取り組みました。一文字一文字に心を込めて書くこどもたちの筆遣いや息遣いが聞こえてきそうな体育館の風景でした。

なお、その日の放課後に、職員で審査会を行い、入賞者を決めました。甲乙つけがたい作品が多く、審査は難航しました。

月末まで、各教室前に児童生徒の作品を展示しています。お時間がございましたら、ぜひご覧ください。